



北海道日高高等学校

〒055-1130 北海道沙流郡
日高町松風町一丁目一六番地の二
<http://www.hokkaido-hidaka-hs.jp/>



令和元年度を終えて

北海道日高高等学校長 町田 英 謙

日高町の厳しい寒さの中にも、春の訪れが日に日に感じられる季節となりました。

二〇二〇年は東京オリンピック開催、この北海道で行われるマラソン競技等、国民全体が夢や希望にあふれる中、昨年の全国的な台風被害や、二月頃から発生した「新型コロナウイルス」で、国内外での感染拡大が、家庭や学校も様々な対応が求められました。このためにお亡くなりになりました。また、お墓やお祈りなど、復興・復旧、事態の鎮静化を願います。

さて、右記の関係で全国で最も罹患者が多い北海道が、独自に「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を公表しました。これにより、学校の授業や「卒業式」の最終授業や「卒業式」の本校は不可能となりました。卒業生、生徒、三割が全道外からの卒業生、三割が全道

各地からの生徒であり、ほぼ全生徒の保護者が卒業式前日に日高町へ到着し、待機している状況でした。この日高町で三年間過ごした思いを共有し、次のステップに向けた確認場面が必要なこともあり、日高町教育長と連携を図った上で、退寮式を実施しました。退寮式という形ではありましたが、卒業生の「卒業」「修了」を祝福できたことで、生徒・保護者に対する最低限度の説明責任を果たせたのではないかと思います。

しかし、国や道の指針の通り、感染拡大が絶対にあつてはならないことは言うまでもありません。在校生には大変申し訳ない思いでお願ひしました。また、卒業生にも事前検温・消毒・入室制限、手洗いなどの行動を徹底してもらいました。高等学校での「入学式」や「卒業式」は、人生経験の中で心に刻まれる大きな柱として心において、大きな柱

あり、人間の成長過程において大切なものとして、私自身が認識しております。簡素化された内容ではありましたが、このような場面を設定できたことが、学校から卒業生・保護者の皆様へのせめてもの饒別となつたのではないかと考えております。



これからは、少し長い年度末休業となります。新年度は四月六日から始まります（予定）となりますが、それまでの間、生徒達はそれぞれが都道府内の各地域に里帰りすることとなり、また、お子様の大きく成長した姿をご覧になり、また沢山の愛情を注がれ、新年度のエネルギーを充電していただけることを心から祈念しながら、令和元年度最後のご挨拶と致します。

卒業を迎えて

三学年担任 坂本 佳子



三年前の四月、真新しい制服を着た十名の新入生の担任を持たせてもらえることになりました。入学式での呼名や式後の初めてのホームルームでも緊張したことを今でも覚えています。それからの三年間は、本当にあつたという間でした。

「どんな姿で卒業していくんだろう」と時折考えながら、三年間を卒業生の皆さんと過ごしていました。一年生の時は、欠席が多かったりと、頭を抱えることもありましたが、二年生では、後輩が「先輩」としての姿を見て、少し頼もしく感じる場面もありました。三年生の進路活動は、大変でしたね。進路決定に関しても、卒業生の頑張りにももちろんですが、先生方の尽力によるところが大きいものに見え、三年間、たくさんの人に見守られ、応援されてほしいなと思います。

この日高高校で過ごした、

三年間というとても長いようでの短い期間のなかで、たくさんの経験をすることができたのではないのでしょうか。地元とは全く違う環境に身を置き、三年間過ごせたのは、すごいことだと思えます。寮生活でも、産学でも、学校でも、四六時中同級生や先輩・後輩と過ごさなくてはいけないのは大変だったことでしょう。この三年間は、楽しいことばかりではなかったはずですが、辛いことや悲しいことを、互いに励ましあい乗り越えて、成長してきた三年間になったのではないのでしょうか。

これからは、十名別々の道を進んでいきます。始めれば、終わります。やってみなければ、始まりません。大きな壁にぶつかるときもあるでしょう。しかし、それを乗り越える力は必ずあるはず。それぞれがどんな大人になつていくのか、今からとても楽しみです。三年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。また、どこかで会いましょう。



令和元年度 学校評価(自己評価シート) NO1

令和元年1月18日
北海道日高高等学校

「達成状況」について、下記の4段階の数字で評価する。「改善の方策」と「自由記述」の欄

4段階 【4：大変よい 3：まあまあよい 2：あまりできていない 1：できていない】

領域	番号	観 点	H29	H30	R1	領 域	改 善 の 方 策
経営管理	参加	1 各自の役割、分担を自覚して協働体制を作り、学校の課題解決に努めたか。	3.4	3.6	3.7	3.6	
	管理	2 危機管理マニュアルが整備され、活用されたか。	3.0	3.3	3.3		
	研修	3 校内研修体制が整備され、適切な課題に対して解決に向けた研修が行われたか。	3.4	3.8	3.4		
	施設	4 学習・生活環境の充実のために、施設設備を点検及び管理し、効果的に活用したか。	3.3	3.8	3.8		
	事務	5 事務処理の要領をよく理解し、適正に執行できたか。	3.3	3.5	3.5		
	地域連携	6 教育方針や教育活動について、学校通信、HP等により情報提供や広報活動を積極的に行ったか。	3.7	3.7	3.8		
	7 保護者との連携(家庭訪問を含む)やPTA、振興会、地域の関係機関等との連携が十分になされたか。	3.1	3.7	3.6			
教育計画	重点目標	8 年度の重点目標は学校教育目標の実現に向けて適切なものであったか。	3.4	3.7	3.8	3.7	
	9 年度の経営方針は学校教育目標の実現に向けて適切なものであったか。	3.6	3.7	3.7			
	実践	10 学校教育目標の具現化に向けて、学年・分掌等の年度目標及び年度計画が適切に設定され、組織的に活動したか。	3.3	3.5	3.6		
	産学	11 教育活動推進のため、地域や産業学習との連携が十分になされたか。	3.6	3.7	3.5		
学習指導	指導計画	12 学校や生徒の実態に即したシラバスのもと、その方針どりの授業展開に努めたか。	2.7	2.8	2.9	3.2	改善に努める必要がある。 自分の引き出しを増やせるように取り組む。
	13 学校や生徒の実態及び学習指導要領の目標に照らし、単位時間の授業計画は適切であったか。	3.0	3.2	3.2			
	授業活動	14 到達目標の設定、評価項目、評価観点、評価の方法を心がけた授業実践であったか。	2.7	2.9	3.1		
	15 生徒が能動的に学習活動に取り組めるよう多角的な実践に努めたか。	3.3	3.4	3.1			
総合的な学習の時間	16 少人数であることの長所を生徒自身に還元できる対応を図ったか。	3.6	3.6	3.5	3.4		
	17 自己を知るとともに進路に関する知識を深める取組がなされたか。	3.0	3.1	3.4			
特別活動	18 学力の実態を把握するとともに、自己を表現する力を身につける取組がなされたか。	3.1	3.1	3.3	3.5		
	生徒会	19 生徒の自主性を育む適切な運営がなされたか。	3.3	3.4			3.2
	ホームルーム	20 各種委員会活動は活発であったか。	2.7	2.9			3.1
		21 面談等により、生活の不安や問題の早期発見などに努め、きめ細かな指導と適切な対応を行ったか。	3.6	3.5			3.2
	行事	22 日常的に進路に対する関心と意欲を高める指導を行い、自発的な学習意欲を育む指導を行ったか。	3.3	3.4			3.2
		23 行事指導に対する役割分担や相互連携は適切であったか。	3.4	3.6			3.5
生徒指導	24 行事のねらいをよく理解し、生徒が積極的に参加するよう指導したか。	3.4	3.6	3.5	3.2	2度とないように努める。	
	部活動	25 生徒が安全に活動できる環境を整備したか。	3.4	3.5			3.8
	生徒理解	26 活動の活性化に努め、生徒が充実した学校生活を送っているか。	3.4	3.5			3.3
	27 基本的生活習慣の向上に努める指導は十分であったか。	2.9	3.2	3.3			
健康安全指導	指導展開	28 教育相談の充実が努めたか。	3.3	3.5	3.4	3.5	
	29 問題発生時において、管理職、産業学習、分掌、他学年などとの報告・連絡・相談や連携は円滑であったか。	3.4	3.5	2.9			
	30 学校・家庭・地域・関係機関との連携は十分であったか。	3.3	3.5	3.2			
	31 いじめや問題行動の未然防止のための指導が効果的になされたか。	3.4	3.5	3.4			
進路指導	交通安全	32 自転車通学に関するマナーを含めて、交通安全について日常的に指導を徹底したか。	3.3	3.2	3.2	3.6	
	火災	33 生徒の防火意識を高揚する活動は十分であったか。	3.4	3.3	3.4		
	校内	34 補食給食のマナー指導は十分であったか。	2.9	2.9	3.2		
		35 特別支援が必要な生徒に関する情報の共有は十分であったか。	3.1	3.8	3.6		
	保健美化	36 清掃活動の計画は適切であり、計画どりに行えたか。	3.7	3.5	3.7		
自由記述	37 健康診断の準備及び健康相談は十分だったか。	3.4	3.5	3.7	3.6		
	38 分掌、学年、家庭及び関係機関との連携は十分になされたか。	3.4	3.5	3.5			
	39 進路目標を決定するための啓発活動や情報提供が効果的に行われたか。	3.4	3.5	3.6			
40 個々の生徒の実態に即して計画的な個別指導を進めたか。	3.3	3.6	3.7	自由記述	<p>・生徒募集・分掌業務等、現在日高町教育委員会と連携・協力し組織的に運営できている。次年度以降、アウトアコースの実施や総合的な探究の時間の実施、授業評価方法など課題・積み残しは多岐に渡るが、課題を後回しにせず、即応できる学校体制を今後も継続できればと考える。</p> <p>・広報活動(特に生徒募集に関して)は、即効性の高い方法がある訳ではないので、協力して地道に中学校訪問・事業所訪問等を継続して、日高高校について周知していく必要があると感じる。</p>		

令和元年度 学校関係者評価（学校運営協議会委員・PTA役員・教育振興会役員・同窓会役員）

評価基準【4:大変よい 3:まあまあよい 2:あまりよくない 1:よくない】○を記入して下さい

領域	番号	観点	H29	H30	R1	領域	自由記述欄	
地域連携	1	①学校は、PTA・振興会などの関係機関との連携を図り、教育活動や各種行事の円滑な運営につとめていると思いますか	3.3	3.6	3.7	↑	3.6	○地域行事・イベントに積極的に参加し、地域を盛り上げている。 ○町職員（産学G）の退職者が多く、新年度体制が心配です。
	2	②学校は、保護者や地域住民の要望や期待の把握につとめ、地域との連携が取れていると思いますか	3.4	3.5	3.5	⇔		
	3	③学校は日高町教育委員会産業学習グループとの連携が取れていると思いますか	3.5	3.6	3.6	⇔		
情報発信	4	①ホームページは見やすく、分かりやすいものになっていますか	3.4	3.7	3.6	↓	3.6	○HPの見易さ、更新頻度、構成など、充実した内容である。 ○更新頻度が高く非常に良い。
	5	②ホームページの更新が定期的に行われ、学校の教育活動や生徒の取り組みが発信され、満足できるものですか	3.5	3.8	3.8	⇔		
	6	③学校案内パンフレットや学校通信は分かりやすく日高高校の情報を伝えるものになっていますか	3.6	3.5	3.3	↓		
学習指導	7	①生徒の実態や能力、進路希望に応じた授業になるよう工夫していると思いますか	3.1	3.5	3.5	⇔	3.4	○幅広い学力差のある生徒の指導を各教員が細かく対応している。
	8	②基礎学力の定着につとめるとともに、課題解決能力の伸長を図る学習内容や評価方法などが展開されているか	3.2	3.5	3.3	↓		
生徒指導・健康安全	9	①生徒の自己管理を促し自律を支援する中で、基本的な生活習慣の確立が図られているか。	—	3.3	3.3	⇔	3.4	○3年間で立派に成長していく姿を見て教員・産学職員のご努力に敬意を表します。 ○自ら考え、周囲の事を配慮して動くことができない子が多くなっている。 ○街で生徒と会った際には、必ず挨拶があり、大変すばらしいことと思います。 ○登校時の生徒出迎えは毎日生徒一人ひとりと出迎え、効果が大きい。 ○スキー場で会った時など、気持ちよく挨拶してくれます。 ○以前と比べて挨拶・礼儀が出来ない生徒が多い。高校生ではあるが、基本的な作法を学ぶ機会を定期的につとめたほうが良い。 ○実際に接する機会は多くありませんが、礼儀正しく、しっかりコミュニケーションがとれると思います。小学校運動会が終わり、モップがけしていたところ、「代わります」と申し出てくれる生徒がいて感心しました。
	10	②学校は、生徒の髪型や服装、あいさつや言葉遣いなどの礼儀を適切に指導していると思いますか	3.5	3.3	3.5	↑		
	11	③学校は、教育相談や生徒理解の取り組みを充実させ、いじめなどの問題の早期発見と適切な対応に努めているか。	3.7	3.6	3.5	↓		
進路指導	12	①学校は、3年間を見通した継続的な指導により、進路意識の醸成と高揚を図り、生徒一人ひとりの希望や能力に応じた進路指導に努めていると思いますか	3.7	3.7	3.5	↓	3.5	
	13	②学校は、進路指導体制の強化を図り、生徒や保護者に進路実現のための適切な情報提供を行っていますか	3.5	3.6	3.5	↓		
その他	14	①保護者や地域住民に対して、部活動の休養日設定や学校閉庁日設定など、学校の働き方改革についての理解を深める取り組みを町教委と連携して取り組んでいると思いますか	—	3.3	3.5	↑	3.4	○定体連支部・全道大会などが終了しても、部活動が活発に行われている。 ○通学生がいない為、働き方改革に保護者はあまり関心がないと思われる。
	15	②日高高校を存続していくための方策として、生徒募集方法や更なる地域連携、改善すべき点や伸ばしていくべき点はありませんか（記述のみ）	○少子化の中、毎年毎年が勝負です。日頃の学校運営実績が反映します。頑張りましょう。 ○様々なマスメディアを利用し、日高高校を紹介し、全道・全国に発信する。 ○とてもユニークな学校・産学の生活をHPとは別に、個人情報を出し過ぎないようにPRする物を別に使ってみたり発信していくのはどうかと思います。 ○町教委との深い連携とより業務システムを簡略化することが必要。 ○過去には、新聞広告や札幌市内での説明会など、色々な募集方法をとってきたが、現在のインターネットにより、高校・産業学習を検索してもらうことが広く宣伝可能な方法と考える。 ○普通が一番良い事。現状維持が大変である事は理解していますが、特殊な意図・希望・問題を持たない人たちが魅力を感じ入学を決断するための指標となる何かが必要と感じます。産学（特にスキー）においては、まだ多くの魅力を、可能性を秘めているので活動としての成果の精度を上げる必要があるのでは？					

ありがとうございました

～離任者挨拶～

「ご挨拶」

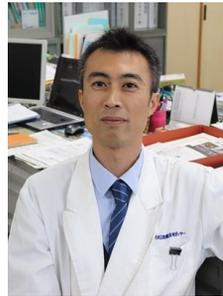


校長 町田 英謙

この度、令和二年度の人事異動内示を受け、北海道栗山高等学校に異動することとなりました。平成二十九年度に着任し、今年の卒業生とともに三年間の勤務でした。在職中には、創立七十周年の記念行事、学校運営協議会（CS）の設立・運営等があり、関係者の方々には様々な面で大変お世話になりました。また、産業学習においては、武田教育長、前任の宮川教育長、関本課長、前任の赤坂課長、学校運営協議会の山田会長はじめ委員の方々に、言葉では表せないほどお世話になりました。心から感謝申し上げます。少し先の感謝申し上げます。創立十周年行事を楽しみにしております。私も次の新天地

地で全力を尽くして頑張ります。今後の日高高校の益々のご発展を祈念申し上げます、離任の挨拶とさせていただきます。三年間、大変お世話になりました。

離任の「ご挨拶」



教諭 岡島 礼久

七年前、古民家のような？旧校舎に赴任した頃は、個性の強い生徒達ばかりで、昼夜を問わず慌ただしい毎日を送っていたように感じます。そんな旧校舎時代、変わらない極寒の中での生活は、生徒だけでなく教職員も我慢強く、逞しくなることができました。また、業者を雇わず生徒とともに行った新校舎への引っ越し業務は、とても大変でしたが、業務はともかく、新たな学校を創る、と共々新しい考えを学校に創る、と有意義な時間であったと今更ながら思

います。新校舎移転を機に、寮を含めた学校の環境整備が進み、生徒・学校全体が成長している様子を目の当たりにし、実感することができました。在職中は、多くの生徒や保護者、教職員、日高町産業学習者、地域の方々とともに日高高校の学校運営に関わることができたことを大変嬉しく思うとともに、この日高の地を離れるに、この寂しい気持ちを一杯です。四月からは学校現場ではなく、北海道立教育研究所付属理科教育センターにお世話になり、生徒と接する機会が少なく生じます。また、たまには日高高校の生徒達を思い出しながら日々の業務に邁進していきたいと思いが、本当に七年前あり



寮ミーティングにて離任者挨拶がありました

新しい年度が始まります

4月の行事予定

- 8（水） 始業式・着任式
前期HR役員選出
- 9（木） 入学式
PTA・振興会総会
- 10（金） 対面式
新入生オリエンテーション
宿泊研修結団式



※入寮は6日(月)開始予定です。

北海道日高高等学校 令和元年度 進路実績

<進学>

	学校名	合格者数 (進学者数)
私立 大学	北海道科学大学	1 (1)
	日本福祉大学	1 (1)
専修 学校	北海道芸術デザイン専門学校	1 (1)
	北海道立北の森づくり専門学院	1 (1)
	北海道立農業大学校	1 (1)
	北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ	1 (1)
	仙台保健福祉専門学校	1 (1)
	学校法人日本教育財団HAL大阪	1 (1)

<就職>

	企業名	内定者数 (就職者数)
民間 就職	株式会社 四季舎	1 (1)
	社会福祉法人サンビジョン サンサンワイナリー	1 (1)

合格・内定おめでとうございます！